

会長挨拶

Jネット会長

太田四郎（本町五丁目出身）

会長の太田でございます。本日はご多用の中、この平成十六年度の総会に、ご来賓の方々をはじめ多数の会員の皆様方、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

開会にあたりまして一言ごあいさつを申し上げますが、それに先立ちまして、創立以来ずっと副会長をやっておられました今井副会長さんが、四月の十七日に急にお亡くなりになりました。本日に創立以来、満七年の間やっていたのですが、一生懸命やっていたので、いろいろな会の発展に尽くされたわけでございます。残念なことではございますが、心から哀悼の意を表したいと思います。

それでは、一言ご挨拶をいたしますが、皆様にご承知の通り、世の中、長い間の不況もやっとなし火が見え始めて、景気の回復の兆しが見え始めたというものの、内外の諸情勢、イラクの

情勢、今日も問題になっております北朝鮮の拉致問題、その他いろいろな情勢、それから国会もいろいろ難しい情勢で、多事多難な状況でございます。このような中、ふるさと上越ネットワークも平成九年設立以来、おかげさまで満七年を経過いたしました。八年目を迎えることができますわけでございます。

この間、皆様方のご協力によりまして、各事業の内容も充実してまいりました。新しい事業としましては、今年一月に第一回の文化講演会を、後でご説明もございますが、盛況裡に立ち上げることができました。そして本総会では、ふるさと上越をいろいろPRしていただくための、「ふるさと越後大使」をスタートさせることになりました。その他、年二回の会報や、あるいは毎月のJネットだよりにも会員の皆様たくさんのご投稿をいただくようになって来ておりまして、号を追って盛会になってきております。また、各

地のJネットサロンも次第に参加者も増えて参りまして、Jネットが定着してきているというような状況でございます。本当に皆様のご協力、誠にありがとうございます。

八年目を迎えます、八の字に因みまして、末広がりの年にしたいなと思っておるわけでございますが、いつも気になるのは会員数の減少傾向で、なんとか増加のきっかけをと考えております。



来年一月から上越市は大合併ということになるわけですが、ついこの間テレビを見たりおりましたら、おそらく九州の福岡だと思えますが、市町村合併が非常に紛糾しておるといようなテレビ報道がございました。こういう紛糾している地域ばかりではなしに、うまくいっているところも全国にはあるということ、

字幕に大きく、第一位上越市、十四市町村というふうに出ておりました。それから第二位が新潟市、これ十二だったか十三だったか、そういう数字で、出ておりました。やっぱり、上越市が市町村合併で第一位のといふふうな、前々からそういうふうな思っておった訳であります、あれだけテレビ報道で大きな画面に太い字で書かれますと、実感として非常に上越市ががんばっているなど、というような感じでございます。面積的にみますと、一〇〇〇平方キロ近くということになりますと、大阪府が一九〇〇いくらですから、大阪府の半分以上、それから、東京都が二二〇〇平方キロですから、東京都の半分近くの面積のところ、二十万ぐらいの人が住んでいるのが上越市というふうなことでございまして、これから上越市として一層の行財政改革を進められ、大発展を遂げられて行かれるのには、いろいろのご苦労があるんだろうと思いますが、ひとつ頑張っていたらいいと思っております。

行政区画がそのように拡大して参りますと、Jネットの会員の範囲も広がってくるわけで、

従いまして、それがまた会員増のひとつの大きなチャンス、従いまして、会員の皆様方につきましてはまだ入ってみえない方々に対しまして、お知らせの方々の、是非、ご紹介をお願いして、よろしくご協力のほどお願いいたしますと思っております。

今日は年一度の総会でございます。懇親会もございませう。世の中、先ほど申し上げましたような非常に不安で、むづかしいことの多い、先があんまり自分でコントロールできないというような時代でございますが、このような時こそやっぱりみんな知ってる人が、集まりまして、いろいろな知恵を出し合いながら、安心していくというの、そして、これを足がかりにして、大飛躍を遂げるのだというのに、一番いい時期ではなからうかと思っております。

今日ひととき、大いに楽しんでいただきたいと思っております。最後になりましたが、皆様方の益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げて、ご挨拶にさせていただきます。どうもありがとうございます。

